

## 2020 年度年末年始期の重点取組事項及び 2019 年度からの変更点

新型コロナウイルス感染症が再度拡大している状況にあり、その終期までの期間が長期にわたることが予測されること。

そのため、2020 年度年末年始期においては、新型コロナウイルスの感染防止のための取組を一層推進し、蔓延を防止しつつ、ゆうパック、ゆうパケット及び年賀郵便物の業務運行の確保に向けた取組を次のとおり実施。

### I 重点取組事項

#### 1 基本方針

- (1) 新型コロナウイルス対策を始めとする安全の確保
- (2) 巣ごもり需要による荷物増加対策

#### 2 全国の引受予測通个数

種別	対象期間	引受予測	
		通个数	対前年比
ゆうパック	11/24(火)～12/31(木)	8,165 万個	103.5%
ゆうパケット		5,399 万個	116.5%
年賀郵便物(葉書のみ)	12/15(火)～1/7(木)	1,571 百万通	91.3%

※ 引受予測通个数及び年賀郵便物引受予測通数(全国・信越)については、別添 1-1～1-3 を参照。

#### 3 重点取組事項

##### (1) 新型コロナウイルス感染対策

現在既に実施している基本的な感染対策の実施の徹底(手洗い、うがい、咳エチケット、出勤前の検温及び体調不良時の対処等)。マスクについては、感染拡大(濃厚接触)を防ぐ効用が高いことから、業務時間中は、原則、着用。

##### 【取組例】

ア 勤務指定変更(時差出勤)等により局内の3密回避

イ レイアウトを調整し社員同士の距離を確保

ウ 室内を定期的に換気(換気窓及び出入口の開放)

エ ミーティングの簡素化

内容の簡素化による接触時間短縮、放送・資料配布等による周知により接触の回避

オ 点呼時の感染予防

カ マスクの着用(屋外で人と十分な距離が確保できる場合は除く。)

キ 帰局時等の手洗い(帰局時、食事前など、石けんをつけて手洗い)

ク 転居情報入力(配達総合情報システム)の代表化

各区で入力している場合、班の代表者がとりまとめて入力することにより PC 接触機会を削減

ケ アクリル板、透明ビニールシート等の活用による遮蔽等

(2) 巣ごもり需要による荷物増加対策

今後、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大等が発生することを想定して、本社において追加対策を検討中。追加対策については別途指示。

(3) その他

ア 緊急連絡態勢の構築

自局における連絡態勢に加え、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等の集団感染、年賀郵便物の処理遅延等の不測の事態が起こった場合に速やかに連絡を取ることができるよう、関係局等(地域区分局等、支社)への連絡態勢を構築。

イ 「年末年始期の取組のポイント」に基づく取組の実施

※ 「年末年始期の取組のポイント」は、年末年始期における取組事項を定めるとともに、各種マニュアルに定められた年末年始期に関わる取扱方法及び業務フローを補完したもの。

【掲載先】

[郵便イントラ](#) - [5. マニュアル・ダウンロード](#) - [業務運行](#) - [年末年始業務運行のページ](#)

II 2019年度からの変更点

○ 「転送」と「返還」の分別授受(別添 10-2)

「転送(2区分)」、「返還(2区分)」に分別し、以下のとおり外務から内務に引き渡す。

		分別方法	
転送	<u>書状区分機による区分が可能なもの</u> ・転送年賀葉書用封筒を使用したもの ・転送シールを直接、年賀郵便物に貼付したもの	<u>手区分により区分するもの</u> ・凹凸がある等書状区分機に馴染まないもの	
返還	差出人記載面が表		差出人記載面が裏

※ 返還については、それぞれが混入及びひっくり返りがないよう、輪ゴム等で把そく等の上パレットケースへ納入(パレットケースでの分別も可)。

※ 「差出人記載面が裏」については、組立すべき年賀状が混入していないか確認。